

秋の全国交通安全運動

平成28年9月21日水▶9月30日金

広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、県民自身による道路交通環境の改善に向けた取組みを推進することにより、交通事故防止の徹底を図る。

長野県交通安全スローガン

思いやり 乗せて信濃路 咲く笑顔

運動の基本

子供と高齢者の交通事故防止

運動の重点

【長野県重点】

- 通学路・生活道路の安全確保と歩行者保護の徹底

【全国重点】

- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
(特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)
- 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶

県下一斉街頭活動日：**9月21日水、9月30日金**

交通事故死ゼロを目指す日：**9月30日金**

通年啓発日

- ◆毎月 5日と20日は「交通安全の日」です。
- ◆4のつく日(4日・14日・24日)は「シートベルト・チャイルドシート啓発の日」です。

長野県・長野県警察・市町村・(一社)長野県安全運転管理者協会
長野県ヤングドライバークラブ連合会協議会

平成28年

秋の全国交通安全運動

9月21日(水)

9月30日(金)

今、行動のとき

運動の基本 子供と高齢者の交通事故防止

ポイント

- 上半期の交通事故死者の約5割が高齢者でした。
- 日没が早くなります。交通事故や犯罪被害から身を守るため早めの帰宅を促しましょう。

交通安全「私から!」

歩行者の皆さんは

ドライバーの皆さんは

- 止まる** …必ず止まる
- 見る** …左右をしっかりと見る
- 目立つ** …明るい服装、反射材等で存在をアピール

- 指さし確認** …「目」と「指さし」で重ねて確認 (ハンドルは握ったまま)
- 早めの点灯** …暗くなり始めたら早めのライトオン
- シートベルト** …スタート合図は[ベルトした?]

運動の重点 1

通学路・生活道路の安全確保と歩行者保護の徹底

- 交通事故死者68人中、21人が歩行者です。
- 歩行者の交通事故死者のうち約5割は道路を横断中でした。

※交通事故統計は、平成28年7月11日現在(暫定値)



ポイント

- ★車両の運転者は、歩行者等を保護するという意識をしっかりと持ちましょう。
- ★横断歩道や交差点の近くでは**スピードを落とし**、横断者がいたら**必ず止まり**ましょう。
- ★幹線道路の**抜け道**に、生活道路を利用するのは控えましょう。
- ★歩行者の皆さんは、道路を横断する時は**安全確認をしっかりと**行いましょう。

運動の重点 2

夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

(特に、反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯の徹底)

○暗くなると、ドライバーから歩行者・自転車が見えにくくなります。



ポイント

- ★車や自転車は、夕暮れ時から早めに前照灯を点灯しましょう。
- ★夕暮れから夜間の外出は、**夜光反射材**や**自発光材**を使用して**ドライバーに自分の存在をアピール**しましょう。

自転車安全利用五則

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外 | 4 安全ルールを守る
○飲酒運転・二人乗り・並進の禁止 |
| 2 車道は、左側を通行 | ○夜間はライトを点灯 |
| 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行 | ○交差点での信号遵守と一時停止・安全確認 |
| | 5 子供はヘルメットを着用 |

もしもの時に備えて、自転車加害事故に対応する賠償責任保険に加入しましょう。



運動の重点 3

後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

○平成27年中に発生した事故で、非着用者の致死率は着用者の約12倍。

○シートベルト・チャイルドシートは「命綱」です。



✓ ポイント

- ★シートベルト・チャイルドシートで助かる命があります。
- ★まずは大人が手本を示し、後部座席を含めた全ての座席で正しく着用しましょう。
- ★シートベルトは、交通事故にあった場合の被害を大幅に軽減するとともに、正しい運転姿勢を保たせることにより疲労を軽減するなど、多くの効果があります。
- ★貸切バス等に乗車する際にも、シートベルトをきちんと着用しましょう。



運動の重点 4

飲酒運転の根絶

○飲酒運転は重大事故の原因となり、被害者の人生を奪うとても悪質で危険な「犯罪」です。

○飲酒運転は、自分の人生ばかりか家族の暮らしまでも台無しにします。



✓ ポイント

- ★職場・地域・家族、みんなが協力して、飲酒運転を「しない」、「させない」を徹底しましょう。
- ★飲酒運転した人だけでなく「酒を提供した人」、「車を提供した人」、「同乗した人」も厳しい処罰の対象です。

飲酒運転根絶!!



ハンドルキーパー運動を推進しましょう。

ハンドルキーパーとは、お酒を飲まないで、飲酒した仲間を自宅まで送り届ける人のことです。